

ISAAC(International Study of Asthma and Allergies in Childhood)

第 I 相試験における小児アレルギー疾患の有症率

出典 日本小児アレルギー学会誌 (0914-2649) 16 巻 3 号 Page207-220 (2002. 08)
(<http://search.jamas.or.jp/link/ui/2003040155>)

著者 西間三馨 他

調査地域 福岡県

調査時期 1995 年

調査対象 6~7 歳、13~14 歳

依頼数 6~7 歳 : 2901 人、 13~14 歳 : 2831 人
回収率 6~7 歳 : 91.4%、 13~14 歳 : 94.2%
有効回答率 100%

診断方法 ISAAC 質問票

有症率 6~7 歳 : 21.3%
13~14 歳 : 13.5%

調査概要 ISAAC の第 I 相試験の日本のセンターの結果を報告した。
ビデオ調査(中学生のみ)と質問紙法で AD の有症率は 6-7 歳で 21.3%、
13-14 歳で 13.5%であった。